

第2章 公共施設等の状況

1. 対象施設

本報告書における対象施設は、平成 27 年3月 31 日現在、いわき市が所有するすべての建築物と道路・橋梁・上下水道管などのインフラ施設とします。

※本報告書では、清掃センターの焼却炉や河川における水門などの施設内外の機械等設備及び建築物のない施設（遊具のみの公園など）は対象外とします。

2. 建築物の状況

いわき市が所有する建築物の数は 1,334 施設、4,647 棟で、延床面積の合計は 1,650,845 m²です。この面積を市民1人当たり（342,249人 平成 22 年度国勢調査）に換算すると 4.82 m²/人となります。

施設区別の状況は次のとおりです。

※施設区分については、総務省が公共施設等の更新費用を推計する際に活用することを推進しており、多くの自治体でも更新費用推計に使用している「公共施設等更新費用試算ソフト」（提供：一般財団法人地域総合整備財団）の施設区分によります。

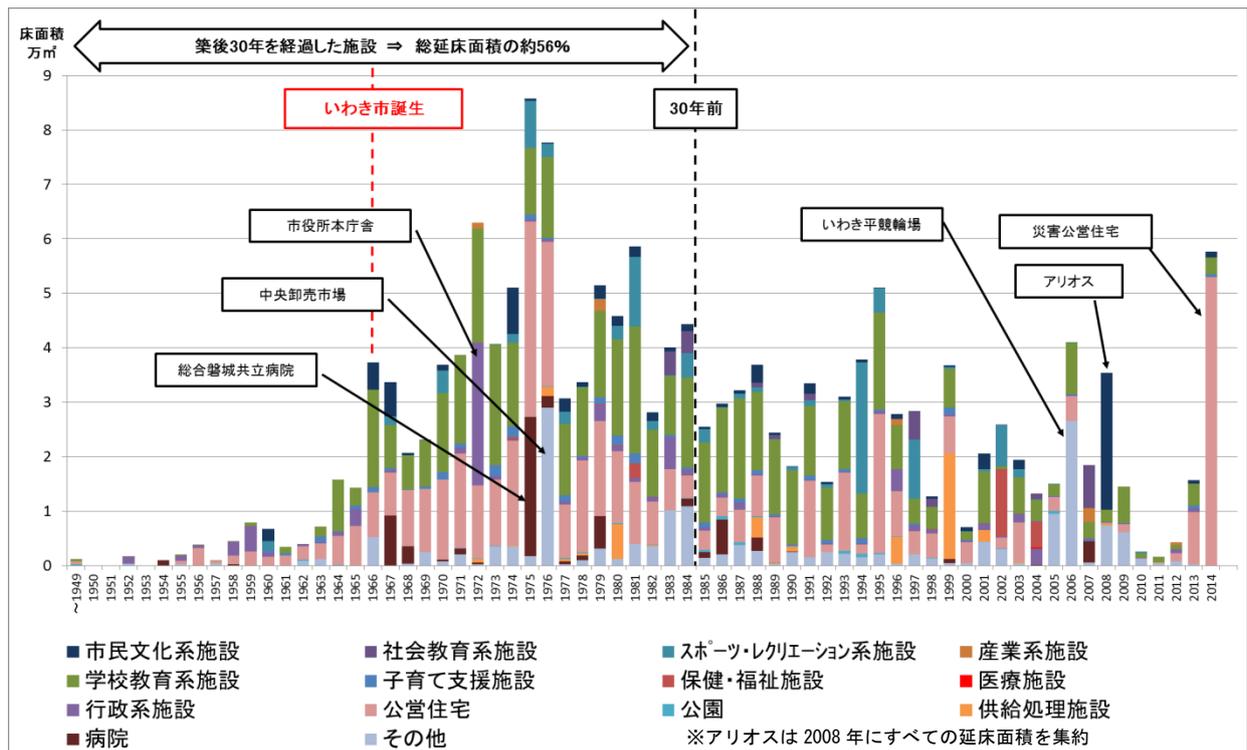
※複数の機能を持つ施設については、「いわき市公有財産調書」（平成 27 年3月 31 日現在）に掲載された施設名で記載するとともに、代表的な施設機能に基づいて分類（公民館に設置している図書館については公民館に包含し記載・分類など）しております。

施設区分		施設数	棟数	延床面積		施設例
大区分	中区分			m ²	割合	
市民文化系施設	集会施設	82	103	44,411	2.7%	公民館、その他集会施設
	文化施設	4	5	35,895	2.2%	アリオス、市民会館
社会教育系施設	図書館	1	1	7,923	0.5%	総合図書館
	博物館等	12	32	19,288	1.2%	美術館、石炭化石館
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	32	71	64,163	3.9%	総合体育館、市民プール
	レクリエーション施設・観光施設	15	94	22,367	1.4%	新舞子ハイツ、田人おふくろの宿
	保養施設	6	23	14,136	0.9%	健康・福祉プラザ、さはこの湯
産業系施設		5	6	7,319	0.4%	産業創造館、労働福祉会館
学校教育系施設	学校	122	1,261	507,944	30.8%	小・中学校
	その他教育施設	38	85	18,848	1.1%	学校給食共同調理場
子育て支援施設	幼保・こども園	51	109	27,535	1.7%	幼稚園、保育所
	幼児・児童施設	18	18	1,910	0.1%	放課後児童クラブ、児童館
保健・福祉施設	高齢福祉施設	7	9	8,294	0.5%	徳風園、千寿荘
	障がい福祉施設	1	1	217	0.0%	内郷授産場
	保健施設	2	5	12,461	0.8%	総合保健福祉センター
医療施設		1	1	202	0.0%	田人診療所
行政系施設	庁舎等	21	62	51,672	3.1%	本庁舎、支所
	消防庁舎	369	383	24,093	1.5%	消防署、消防団詰所
	その他行政系施設	14	14	813	0.0%	防災センター、環境測定局
公営住宅		159	1,629	490,618	29.7%	市営住宅、災害公営住宅
公園		79	170	6,393	0.4%	公園内トイレ、公園管理施設
供給処理施設		14	73	41,917	2.5%	清掃センター、衛生センター
水道施設		138	208	19,302	1.2%	浄水場、ポンプ場
下水道施設		60	116	63,481	3.8%	浄化センター、ポンプ場
病院		3	28	66,616	4.0%	共立病院、高等看護学院
その他		80	140	93,027	5.6%	市場、火葬場、競輪場 等
合計		1,334	4,647	1,650,845		

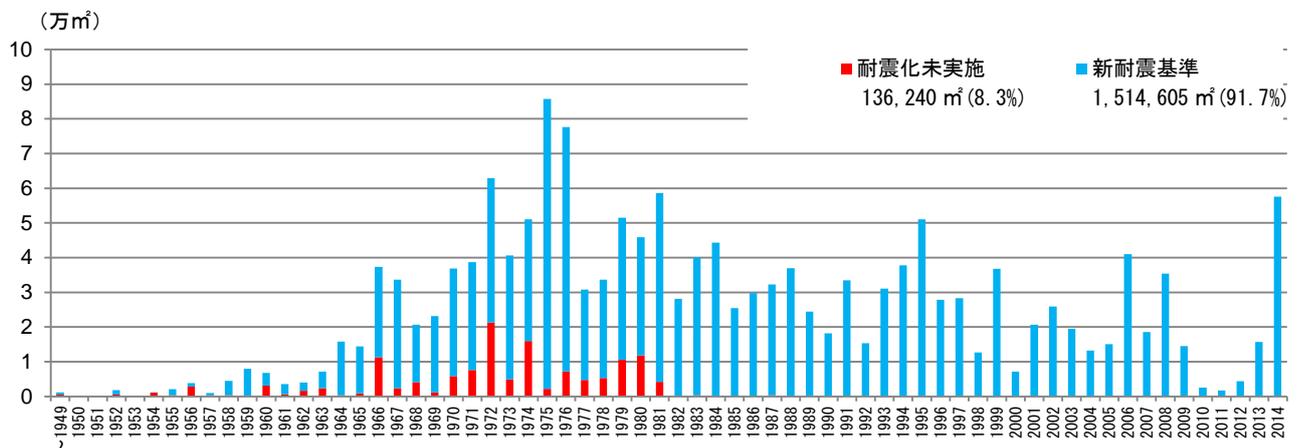
(1) 年度別の整備状況

建築年度別の整備状況を見ると、本市では1966年（昭和41年）の合併から公共施設の整備が本格的に始まり、高度経済成長期の人口の増加に伴う行政需要の増大に対応するため、1975年（昭和50年）頃をピークに、小中学校をはじめとする学校教育施設や市営住宅などの整備を積極的に行ってきました。

建築後30年以上を経過した建築物は全体の約56%を占めており、今後、個々の建築物の実際の劣化状況を把握し、計画的な修繕等の対策が必要となります。



建築物の耐震化状況を見ると、耐震診断を実施していない、または耐震化工事を実施していない施設は284施設・447棟であり、延床面積で見ると全体の約8%となっております。これらの施設の多くは、普段人が立ち入らないような機械室や小規模な公衆トイレ等ですが、一部、文化センターや保育所等で耐震化工事を実施していない施設があります。



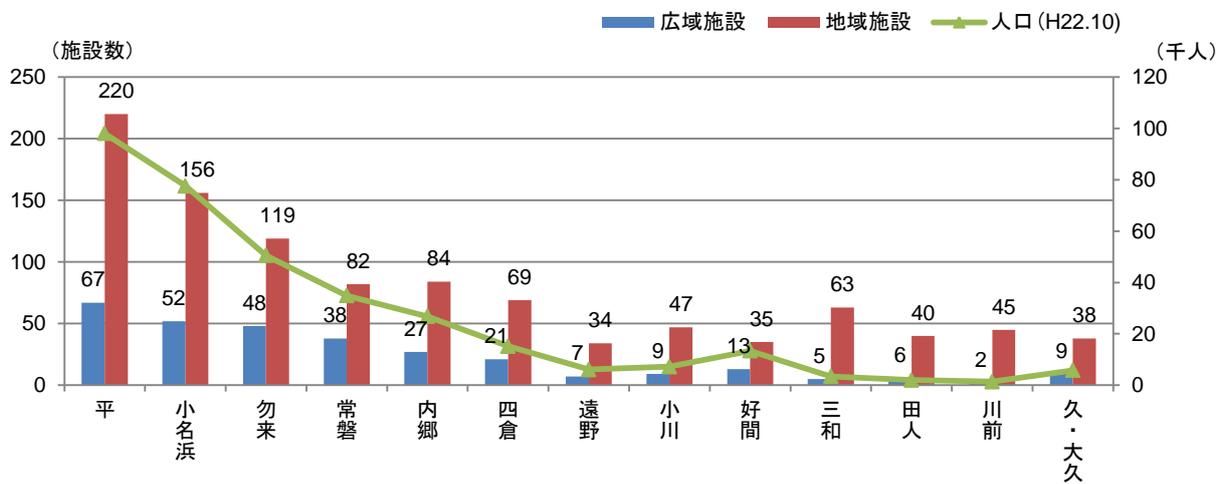
(2) 地区別の整備状況

地区別の整備状況を見ると、施設数や施設延床面積は広域施設・地域施設ともに地区の人口と概ね比例しており、最も地区人口の多い平地区については広域施設が 67 施設 196,265 m²、地域施設が 220 施設 332,291 m²と最も多く配置されています。

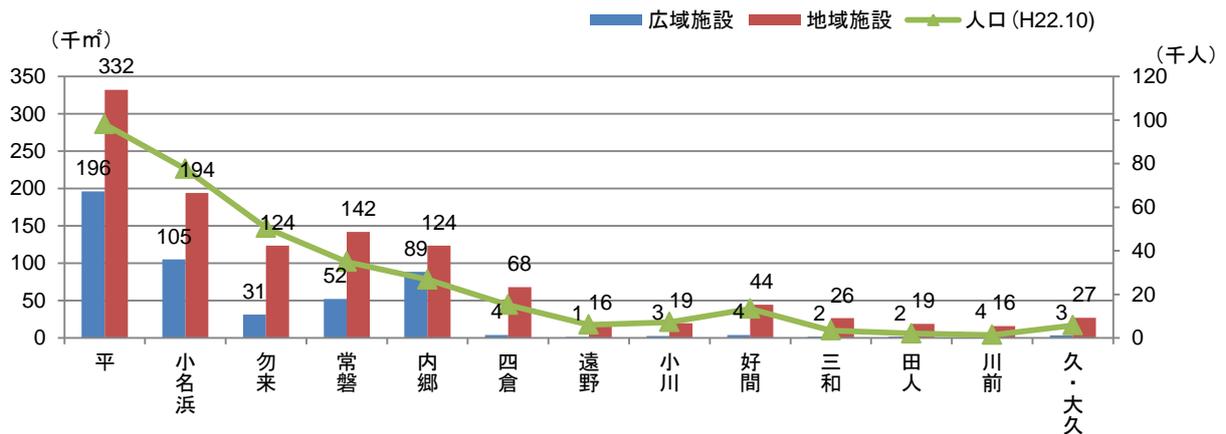
※ 広域施設：大規模集会施設、クリエイション施設・観光施設など利用圏域が市全域や市外に及ぶ施設

地域施設：学校、公民館、保育所など利用圏域が地区に概ね定まっている施設

【地区別施設数】



【地区別施設延床面積】



3. インフラ施設の状況

いわき市が保有しているインフラ施設（将来の更新費用推計の対象とする道路、橋梁、上下水道管）の概要は次のとおりです。

(1) 道路

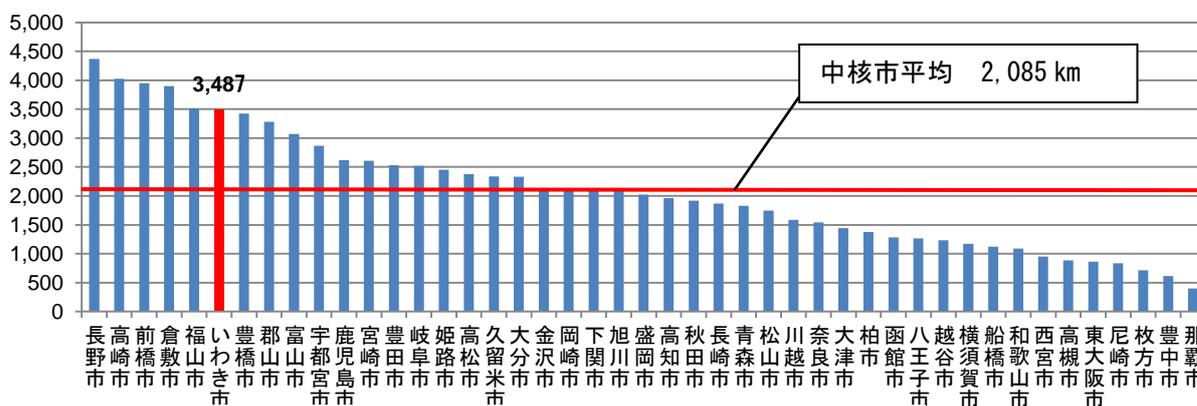
① 市道

市道の実延長は約 3,500 km、総面積は約 2,600 万㎡となっています。

	1 級市道	2 級市道	その他市道	合計
延長 (km)	374.5	273.9	2,838.2	3,486.6
面積 (㎡)	4,837,140	2,571,126	19,244,694	26,652,960

【参考】中核市との比較

中核市の中で 6 番目、中核市平均 (2,085 km) の約 1.7 倍。



※公共施設状況調査（総務省公表 H26.3.31 現在）に基づく

② 農道

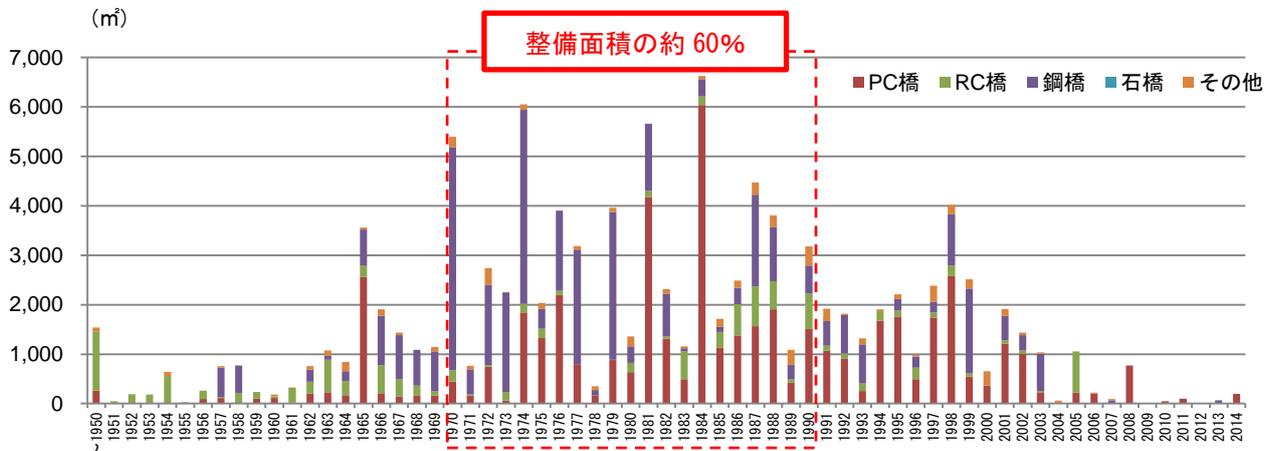
延長 (km)	105.0
面積 (㎡)	478,670

③ 林道

延長 (km)	593.8
面積 (㎡)	2,317,007

(2) 橋梁

橋梁は2,179橋(市道2,084橋、農道13橋、林道82橋)、総面積は約138,547㎡となっており、1970年から1990年にかけて集中的に整備されております。

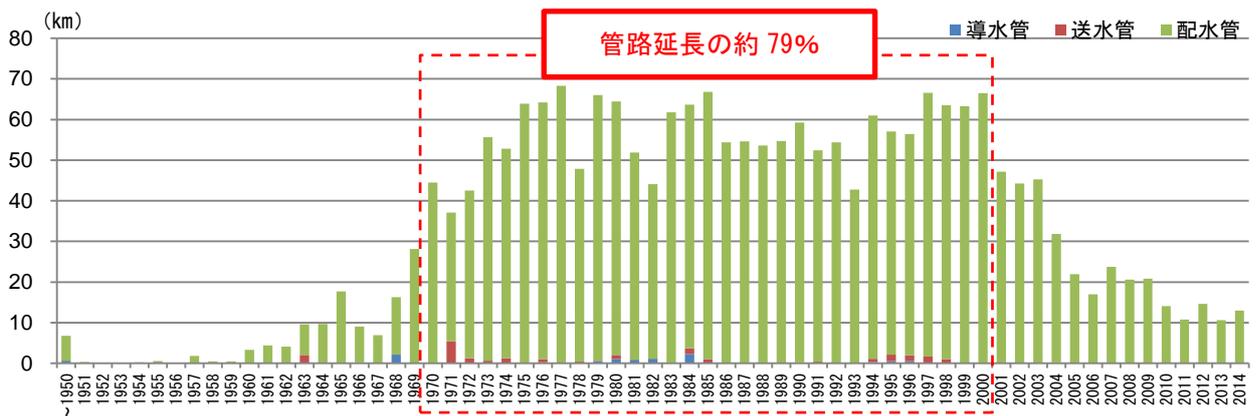


※上記グラフは整備年度不明分(1,378橋、30,297㎡)を除く

整備年度不明の橋梁については、平成27年度から実施している橋梁点検において、所在や諸元等を調査し、その結果を平成31年度に更新する「いわき市橋梁長寿命化修繕計画」に反映することとしております。

(3) 水道管

水道管の管路延長は2,211kmとなっており、1970年から2000年にかけて集中的に整備されております。



(4) 下水道管

下水道管の管路延長は 1,194 kmとなっており、1990 年以降、集中的に整備されております。

